

ソフト・オプトエレクトロニクス材料(IV) — 情報を共有する分子システム —

有機エレ材研(JOEM)

《(独)理化学研究所・(独)日本学術振興会情報科学用有機材料142委員会 B部会との共催》

《日時》 2006年6月12日(月) 10時~19時30分

《会場》 理化学研究所 鈴木梅太郎記念ホール

<http://www.riken.jp/r-world/riken/campus/wako/bldg.html>

《趣旨》

生命機能の根源である生物の分子認識などの情報伝達において、生物由来のソフトマテリアルの柔軟な構造変化が重要な役割を果たしている。このような生物に見られる階層性を越えた情報共有の現象に学び、オプトエレクトロニクス分野における、ソフトマテリアルに特有な光・電子機能や従来にない駆動原理に基づく機能材料開発への展開を図って本シンポジウムを企画した。特に、情報の共有を介して生物科学と物質科学の融合を図った新しい物質材料科学の開拓を目指して議論したい。

《プログラム》

10:00~10:10 はじめに

10:10~11:10 「ナノテク・ナノバイオからの期待

: 物質科学と生命・情報科学との融合」

理研 茅 幸二

11:10~12:10 「金属 - 分子集合系と情報機能-

フォトニクスからバイオまで」

九大 山田 淳

12:10~13:10 昼食

13:10~14:10 「分子情報の協奏的発展」

理研 川本 益揮・佐々 高史・和田 達夫

14:10~15:10 「機能性イオンチャンネル」

阪大 井出 徹

15:10~15:30 休憩

15:30~16:30 「癌抑制タンパク質 p53 の機能制御と構造」

北大 坂口 和靖

16:30~17:30 「細胞内情報処理の時間・空間ダイナミクス」

理研 佐甲 靖志

17:30~19:30 懇親会 (理化学研究所 広沢クラブ2階)

参加費: 参加費、講演要旨集代は無料です。会員以外の方は要旨集代として¥2,000いただきます。
懇親会費: 3,000円を当日受付にて申し受けます。

参加登録: 参加登録, 登録の変更は, 6月2日(金)までに, 次へお願いします。

(1) Web site: <http://www.organic-electronics.or.jp/> 経由『参加登録』画面

(2) FAX: 0268-21-5413 (参加証は発行しません)

※ 締め切り期日を過ぎてからの参加申し込みは要旨集を配布できない場合がございますのでご注意ください。